

△産業宣教 1 講 世の中と断絶されたほど 世の中を征服することができる(創 6:1-8)	△レムナント伝道学 2 講 人と断絶されたほど人を生かすことができる (創 39:1-6)	△核心 / 散らされた弟子たち 3 講 私と断絶されたほど私を生かすことができる(ガラ 2:20) すべてから断絶された人々(ピリ 1:12-14)
<p>今回のろう者宣教大会の主題は「御座の答えの主役」だ。障がいがあるのは世の中と断絶されることだが、世界を征服した場合が多い。その断絶の時間に、霊的プラットフォームのシステムが成り立つためだ。</p> <p>□序論 世の中と断絶されると、さらに高いことを見るようになる。ジョン・パニヤンは監獄で《天路歷程》という本を書いて世の中を生かした。全世界 7 千万、韓国 40 万ろう者がいて、手話の種類だけで 300 個くらいになる。このとき、絶好の機会を作るべき。</p> <p>1. RT 7 人 RT 7 人が世の中と断絶したとき、24 になる条件だった。RT 7 人とヘレン・ケラー、クロスビーは霊的プラットフォームのシステムが作られたので、最高の機会になり、世の中を生かした。</p> <p>2. 創 1:1-3 霊的プラットフォームは、神様がみことばと創造の力、光の力で臨むこと</p> <p>1) ヨハ 1:1-4 神様のみことばと通じれば神様が臨在される 2) ヨハ 1:11 光 3) ヨハ 1:14 受肉</p> <p>3. 内容-どんなプラットフォームなのか</p> <p>1) Trinity -三位一体神様が霊によって、私の中に臨んだこと 2) 創 1:27 私のいのちの中に臨む 3) 創 2:7 私のみたましいの中に臨む 4) 創 2:17-18 私の生活、考え、心の中に臨む。このプラットフォームが作られるとパワーが出てき始める 5) 霊的世界を味わう (1) 神様の霊が私とともにおられる身分 (2) 神様のことが私たちの中にある権威 (3) このように出てくるのが聖霊の力と御座の力</p> <p>□本論_理由</p> <p>1. 滅びる人は世の中を好きな人だ。 1) 食べること(創 3 章) 2) 世的なこと(創 6 章) 3) バベルの塔運動(滅びるサタンを使い)</p> <p>2. 御座の祝福-世の中と断絶したように見える。 1) 創 6:14 他の人が生きるように 2) 創 6:18 多くの次世代が生かされるように 3) 創 6:20 多くのいのちを持つものが生きるように</p> <p>3. <u>ネフィリム/箱舟</u>この人たちが世の中に生きるため、ほとんどネフィリムになる。ハロウィーンデイ運動もネフィリム運動で、3 団体がこれをする。これを崩すことが箱舟 1) 義人-救われた者、霊的なことを知る者、世の中とサタン、悪霊、聖霊を知る者が義人 2) 全き人-どんな状況でもよく準備されたことを全き人という。 3) 同行-神様と同行する者は完全だ。これが方法 △これを「24」すれば良い。</p> <p>□結論</p> <p>1. 世の中をうらやむな 2. サタンに捕えられた世の中を恐れるな。 3. 世の中はサタンに仕えているために、軽視してはならない △私たちが霊的プラットフォーム作る御座の主役だ。最高の機会がある。</p>	<p><u>御座の答え-主役 人と断絶-人を生かす道 霊的見張り台</u></p> <p>□序論</p> <p>1. プラットフォーム(霊的) -神様が私たちの中に臨在される霊的プラットフォームを持っている。 1) 光(見張り人) -御座の光が照らされて、私も、他の人も生かすようになる。見張り人になる。 2) わざわい(危機) -光を照らすので、わざわざを防いで、危機にいる人に光を照らして、この光を見ていやされる。</p> <p>2. Key - <u>キリスト</u> <u>サタン</u> <u>X</u> <u>暗やみ</u> <u>X</u> <u>地獄の背景</u></p> <p>1) 創造の前から-創造の前からおられたキリストを理解できないユダヤ人は次世代まで滅びる。 2) 受肉-成就-創造の前におられ、人のからだを着て来られ、すべてを成就 3) 復活-今-復活して今でも働き。復活の初穂。 4) 再臨主-未来-再臨主として来られること。キリストを知る者は未来を心配する必要なし。 5) さばき主-永遠(御座) -すべての人を生かして、復活させて、さばき主として来られる。</p> <p>3. 身分と権威</p> <p>1) 光-「あなたがたは世界の光だ」キリストが分からない、霊的な目が疎い者が障がい者。 2) 救い-光を照らして、多くの人を救う身分、権威 3) いやし-いやすことができる身分、権威。</p> <p>□本論</p> <p>1. 関係-神様と関係が深くなれば、みな生かす。 1) 私 2) 家系 3) 他人</p> <p>2. 瞬間御座-人々と多くの現実と断絶したように見えるが、その瞬間は御座を味わう。 1) 創 39:1-6 奴隷として行ったヨセフに、神様はすべてとともにおられ、祝福される。 2) 出 3:1-10 すぐに答えが来るより、正確に完璧に来るのがさらに重要だ。 3) I サム 3:1-19 家に帰ることもできず、サムエル一人で神殿に横になっていた、そのときに御座の祝福の時間。 4) 詩 23:1-6 ダビデが追われていたそのときに、御座の祝福の時間 5) バビロン 死-バビロンで死ぬようになったときに、御座の祝福の時間 6) 使 11:19 大きい迫害が起こったが、これが御座の祝福の時間。アンテオケ教会が誕生。</p> <p>□結論_祈りの見張り台</p> <p>1. 使 1:3 何でも始めるとき、イエス様が見せたように 40 日祈りで始めなさい。 2. 使 2:1-13 礼拝のとき「約束されたその力、聖霊を私に注いでください」祈って待ちなさい。 3. 使 2:42 教会で「使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた」この祈りをしなさい。 4. 使 12:1-25 特別な場合、できごとが起こったとき、集中祈りをしなさい。 5. 24、25、永遠-続けて 24 祈りになり、プラットフォームと見張り台が作られると 25、永遠が来る。</p>	<p><u>正心調息</u> 正しい心、正しい呼吸 病気になるやすい。脳、考え、心が弱いこともある。せっかちな方々は健康を害しやすい</p> <p><u>吸う息</u> 3・9・3 三位一体の神様、御座の祝福、3 時代を生かす力が私に臨むように</p> <p><u>吐く息</u> 伝達あるいは権威使用。キリストの御名で祈り、命令プラットフォーム(使 1:1)、見張り台(使 1:3)、アンテナ(使 1:8) 3・9・3 から出る祝福三つ</p> <p><u>滅亡</u> の条件である私を何のために持っているのか。</p> <p>□序論</p> <p>1. 私と疎通 1) 3、6、11、13、16、19、6 私しか分からない。熱心に生きたがサタンの使い、ネフィリム。ある日、見ると滅びた。バベルの塔。不安で何かを探すが使 13、16、19。これだから、未信者状態 6 つ</p> <p>2) T U L I P (キリスト) 人間はアダム以降、正しく生きることはできない(Total)。救われる条件がない(Unconditional)。それゆえ、神様が制限された方法を与えられた(Limited)。キリストを送ると言われた。この救いを神様が恵みで与えられたが、妨げることはできない(Irresistible Grace)。救われたら、絶対に滅びない(Perseverance of the Saints)。</p> <p>2. 神様と疎通 3・9・3</p> <p>3. 人と疎通 1) WITH, Immanuel, Oneness どこにいても、落胆することがきたのに大丈夫だ。答えが見えるので 2) ただ、唯一性、再創造、ある日伝道するほど、事になり始め 3) 7 大旅程 神様と人と疎通、私と疎通が同時に成り立つこと</p> <p>□本論</p> <p>1. 神様の約束は変わらない-問題と危機恐れ X 1) マタ 28:16-20 約束 2) マコ 16:15-20 約束 3) 使 1:8 この答えが始め</p> <p>2. 私を神様にささげたところ、私、家庭、教会、世の中みな生かすことができる 1) 使 1:14 恐れなくて集い 2) 使 2:1-13 「五旬節の日になって」 3) 使 7:54-60 死んだのにさらに働き 4) 使 11:19 難しいときアンテオケ教会 5) ガラ 2:20 私の中にキリストがおられる</p> <p>3. 私を捨てて心配しないでいれば力が現れる 1) カル、オリ、マルの力が行く所ごとに 2) 24、25、00 3) OURS</p> <p>□結論 <u>散らされた者たち</u>のようにいるようになる</p> <p>1. Nobody これをいつも味わうべき 2. Nothing これが答え 3. Everybody, Everything これが目標</p>

△区域メッセージ 巡礼者に与えられた 3 超越の答えと私の 24 (使 1:1, 3, 8)	△聖日 1 部礼拝 父がわたしに下さった杯を、どうして飲まずにいられよう(ヨハ 18:1-14)	△聖日 2 部礼拝 恐れに捕われた弟子たち(ヨハ 18:15-18)
<p><u>瞑想運動(霊的問題)/テンプルスティ/気功運動</u> 土曜日に大人とレムナントが教会に集まって、祈りについて教えなさい。そうでなければ、次世代が 3 団体に負ける。瞑想運動が学校にのみ入り込んだので危険だ。瞑想すれば力が生じるだろうが、霊的問題がついてくる。テンプルスティ、気功運動も瞑想運動なのに、次世代に多くの影響を与える。</p> <p>△巡礼者-3 超越の答え それゆえ、私たちと次世代は、巡礼者の道を歩んでいるので、必ず 3 超越の答えを受け取るべき。祈りはものすごいことを受け入れることだ。</p> <p>□序論_聖霊 エペ 2:2 (空中の権威を持つ者)-聖霊が分からなければ、空中の権威を持つ者も分からないので、学校と職場で瞑想運動をする。RT に必須で正しい祈りを教えなさい。</p> <p>□本論 1. 御座 最も大きい祝福が御座の祝福だ。一般の人々は宇宙の中にあることだけ分かるが、実際の御座の部分は分からない。瞑想運動する人は宇宙の中にある力を受け入れて味わっている。</p> <p>1) 三位一体-三位一体の神様の力が私に臨むことが祈りだ。 2) 天の軍勢、御使い-御座の祝福の中の一つである仕える天の軍勢、御使いが活動するのだ。 3) サタンの国-サタンの国が縛られるのは祈りでだけ可能になる。</p> <p>2. 時空超越 祈りで御座の祝福を味わうと、時空を超越するようになる。サタンも時空を超越してハロウィン・デイのような時空超越の文化を続けて作り出す。</p> <p>1) 24 祈りという祝福を見つけ出して、まことの力、平安をみな見つけ出すのだ。 2) 25 (神の国) -このとき来るのが 25、神の国だ。 3) 永遠 (作品) -答えが作品として出てくるが、それが永遠で、簡単に世の中に勝つことができる。</p> <p>3. <u>237</u> 1) 私、職業、教会-私の生活と産業、教会が 237 にならなければならない。必須だ。 2) 光の経済-こうしてこそ、光の経済が回復して暗やみに勝つのだ 3) 光の文化-光の経済を回復してこそ、光の文化が出てくる。今が絶好の機会だ。</p> <p>□結論_必ずすべき二つのこと 1. 3・9・3 三位一体の神様と御座の祝福、過去、今日、未来を生かすこの時代的な祝福は味わわなければならない。</p> <p>2. <u>呼吸祈り-巡礼者</u> 呼吸祈りは本来、巡礼者がした。私たちが祈らないと瞑想運動、テンプルスティ、気功運動する人々が奪ってってしまうのだ。私たちが聖霊運動をしないので、人々が憑依運動を始めたのだ。私たちのものをみな奪われてしまったが、見つけ出さなければならない。</p>	<p>△聖日に教会にくるとき、最高の答えが何か見つけることが礼拝と祈りだ。毎日、メッセージを握って見つけなければならない。</p> <p>□序論 1. 本文の背景 1) ケデロンの川筋の向こう側(ヨハ 18:1) -過越祭の羊の血が流れ込む所(ケデロン)。ここにイエスがおられることを知って、イスカリオテのユダが兵士、パリサイ人と捕まえに来た 2) 世の中の困難三つの目で見えるべき-当然、必然、絶対 △イスカリオテのユダが自分の利益を追ってイエスを売ったことは当然のこと。 3) ともしびとたいまつ、武器を持ってきた人々に、堂々とご自分を明らかにされたイエス 4) 「父がわたしに下さった杯を、どうして飲まずにいられよう。」とみことば(しもべの耳を切ったペテロに) 5) イエスを先にアンナス(羊の検査責任者)に連れていく。</p> <p>2. くやしきつらい目に遭うとき、神様の絶対計画が何か本当に祈るべき 1) 伝道運動を始める前、大きな困難のとき確実な神様の計画が見える時まで祈り 2) 釜山インマヌエル神殿建築ができなかったとき「なぜ神殿が与えられないのですか」祈り-三つの庭を作りなさいと 237、いやし、サミットの絶対的な答え 3) インマヌエルソウル教会について「なぜここですか」祈り-金土日時代を準備しなさいという神様の絶対計画(神様の計画の質問は継続すべき)</p> <p>□本論_イエスが苦難の杯を前にして答えを見付けられたこと 1. 苦難の杯は答えの始まり-危機は答えの始まり 1) 旧約に預言-十字架事件 2) イエスが復活約束 3) 神様のことを握れば答え始まり 2. 苦難の杯はイエスがキリストという事実があかしされる始まり-キリストを正しく知ればすべての答えが見える 1) 創造の前 2) 受肉 3) 復活 4) 再臨主 5) さばき主 △この証拠を見せられたのだ。苦難は証拠の始まりだ。 3. キリストを証明して、他の人がキリストを分かるようにすること(選択基準) 1) くやしきこと- 100 年の答え 2) 何の誤りもないのに困難- 1000 年の答え 3) イエスが受けたくやしき-永遠の答え</p> <p>□結論 1. 危機は、神様がご覧になるときは、最も良い機会 1) ヨセフ 2) モーセ 3) ダビデ 4) 初代教会 △だまされてはならない。正確な神様の計画を見つけて祈りが祈り 2. キリストという単語を分かれば来る答え 1) 道(ヨハ 14:6) 2) 三位一体の神様が働き 3) 御座の祝福 4) すべての暗やみの権威に勝利 3. キリストを知って絶対計画を握る瞬間、答えと働きは始まる △「できる、できない」「やればできる、できない」という人の基準。神様の絶対計画だけ発見すれば働きが始まる。これを見つけて祈りが祈りで礼拝だ。</p>	<p>詩 103:20-22 -礼拝、祈る時間に必ず起こること <u>三位一体の神様がともに、御座の祝福が臨めば必ず詩 103:20-22 が起こる。神様の絶対計画を握れば答えが来る。本文にイエス様が捕えられたので、イエス様の奇跡を見た人、イスカリオテのユダ、10 人の弟子はみな逃亡</u></p> <p>□序論 体験、訓練、どんな知識を持ってもできない。 ヨブ 3:25 「私のおびえたものが、私の身にふりかかった」 1 ヨハ 4:18-19 恐れには刑罰が伴っている。必要ない心配をすれば続けてついでくる。1 ペテ 5:7-8 あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。</p> <p>□本論_<u>霊的な目</u>が開かれた者(1 コリ 12:3 聖霊によるのでなければ、だれも、「イエスは主です」と言うことはできません)</p> <p>1. ペテロ-1 人が最後までイエス様について行ったのに世界は変化した 1) マタ 16:16-20 キリストだということを初めて告白。ものすごい祝福を与えられた(岩、わたしの教会、ハデス X、天国の鍵) 2) マタ 16:20 まだ誰にも話してはならない 3) マタ 17:1-9 キリストだけ残る 4) ヨハ 21:15-18 契約を握った瞬間から、神様は絶対に捨てられない 5) 使 3:6 初めてナザレのイエスの御名を使う 6) 使 4:12 初めて法廷でキリスト宣言 7) 1 ペテ 2:9</p> <p>2. 重職者-重職者 1 人を通して起こった運動 1) 使 6:1-7 エルサレム 2) 使 8:4-8 サマリヤ 3) 使 8:26-40 宣教の門 △ひとつの地域に重職者 1 人ならば良い。神様の絶対計画を持った者が<u>霊的な目</u>が開かれた者 1 人で、この運動が起こる。 4) 使 11:19 アンテオケ教会「信じなければならない」 5) 使 12:1-25 大きな危機のとき</p> <p>3. この人々が RT を育て始め(会堂であかし) 1) 使 17:1 キリスト当為性 使 18:4 礼拝 使 19:8 神の国 2) 使 13、16、19 シャーマニズム、悪霊、偶像に陥って霊肉ともに病んだ者をいやし 3) ロマ 16:25-27 世々にわたって長い間隠されていたことを与えられる。</p> <p>□結論_<u>金土日時代</u> 1. 多民族、いやし、サミット 24 2. 三つの庭回復 3. タラント-祈り-祈りでタラントを見つける。どこでも勝つことができる祈りを教えるべき。 4. 2000 やぐら-あちこちに光を照らして人々が来ることができるようにプラットフォームを作って、いやさなければならない。 5. わざわいを防ぐ教会 △契約だけ握っていれば、どんな苦難の中にも大丈夫だ。体験しなければならぬ。レムナントはユダヤ人、3 団体を生かす祈りをしなさい。</p>